

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社「(仮称)肥薩風力発電事業環境影響
評価方法書」に対する勧告について

令和3年6月4日
経済産業省
商務情報政策局
産業保安グループ

本日、電気事業法第46条の8第1項の規定に基づき、(仮称)肥薩風力発電事業環境影響評価方法書について、ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社に対し環境保全の観点から勧告を行った。勧告の内容は、別紙のとおり。

また、併せて同条第3項の規定に基づき、熊本県知事及び鹿児島県知事からの意見を勧案するよう、その写しを送付した。

(参考)当該地点の概要

1. 計画概要

場 所：熊本県人吉市、球磨郡球磨村、鹿児島県伊佐市

原動力の種類：風力(陸上)

出 力：最大68,800kW

2. これまでの環境影響評価に係る手続

<計画段階環境配慮書>

計画段階環境配慮書受理	令和2年 6月25日
環境大臣意見受理	令和2年 9月 7日
経済産業大臣意見発出	令和2年 9月18日

<環境影響評価方法書>

環境影響評価方法書受理	令和2年12月10日
住民意見の概要等受理	令和3年 2月22日
熊本県知事意見受理	令和3年 5月11日
鹿児島県知事意見受理	令和3年 5月25日
経済産業大臣勧告発出	令和3年 6月 4日

問合せ先：電力安全課 沼田、江藤、萬上
電話03-3501-1742(直通)

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社「(仮称)肥薩風力発電事業環境影響
評価方法書」に対する勧告内容

1. 本事業計画では、風力発電設備及び附帯設備（以下、「風力発電設備等」という。）の構造・配置又は位置・規模に係る具体的な事業計画が明らかになっていないことから、これらを明確にした上で、適切に調査、予測及び評価を行うこと。
2. 本事業者の計画する「(仮称)大関山風力発電事業」の工事を同時期に実施する場合は、影響が最大となる時期を対象時期として適切に予測及び評価を行うこと。
3. 本事業の実施により、土砂・濁水の流出に伴う水環境への影響が懸念されることから、局所集中的な降雨の傾向と土捨て場や道路工事に係る雨水排水対策を踏まえ、濁水の影響について適切に調査、予測及び評価を行うこと。
4. 対象事業実施区域及びその周辺は、重要な動植物の生息・生育地となっている可能性があることから、これらに対する調査を実施する際には、定量性が確保されるように調査、予測及び評価を行うこと。
5. クマタカの行動圏の内部構造の解析を実施した上で、本事業による影響について適切に予測及び評価を行うこと。
6. 対象事業実施区域の一部には自然度9の森林が存在する可能性があることから、現地調査により存在する区域を明らかにするとともに、専門家等からの助言を踏まえ、適切な調査、予測及び評価を実施すること。
7. 風力発電設備等の設置に伴う森林伐採により、哺乳類等の動物の行動、生息地の利用状況の変化や植生の変化等による影響が考えられるため、適切に調査、予測及び評価を行うこと。

(熊本県知事及び鹿児島県知事からの意見書の写しを添付)